

Message from Superintendent Grotting

ビーバートン学区の皆様へ

先週、教師・サポートスタッフ・管理職を含む学区 **Teaching & Learning** 部門スタッフの並々ならぬ努力に焦点を当てました。彼らの多くは秋のオンライン学習に向けて準備が整うよう、夏の間の時間を自主的に費やしました。今週は、学校の活動を支えているその他の各部門の努力を称えたいと思います。彼らのような優秀なスタッフの努力なしには、私たちの学区は機能しません。

Business Services

- **Business Services** 部門では、学校閉鎖後の予算編成や閉鎖に関連したスタッフ配置の課題に取り組んでいます。以下は、検討が必要とされた項目の例です。
 - PPE (個人用防護具)、清掃・消毒用品、ソフトウェア、ハードウェア等によるコスト増
 - CDL(包括的遠隔学習)と新設校である **FLEX** オンラインスクールへのスタッフ配置
 - 来年度の潜在的な生徒数減少によるスタッフ配置への影響
 - 来年度の **Student Investment Account** の 67%削減を見越した準備
 - 2021-2023 年度予算での、大幅な歳入不足の可能性

Communication & Community Involvement

- **Communication and Community Involvement (CCI)** 部門では、9月の第1週に家庭学習のための学用品が入った 16,000 個の **Student Success Kits** を準備し、無料ランチプログラムの対象となる生徒に配布する取り組みを主導しています。
- 地域のパートナーと協力して、サポートを必要とする **BSD** の家庭に 17,500 個以上のフードボックスを無料配布しました。秋もこの方法でサービス提供を継続する予定です。
- **Clothes Closet** を予約制に変更し、8月24日から再開できるようにしました。**Clothes Closet** では、困窮している生徒へ新品や中古の衣類を配布しています。
- 学区ウェブサイト、**BSD Weekly** (ニュースレター)、ソーシャルメディアへの投稿、ビデオ、**Q&A** セッションなどを通じて、刻々と変化する学校再開計画の詳細を伝えるための追加の方法を考案してきました。

Equity & Inclusion

- **Office of Equity and Inclusion (OEI)** 部門では、生徒とスタッフにより安全で反人種差別的な学習空間を提供するため、学区各部門や学校を支援し協力し続けています。
- この夏のリーダーシップサミット、“反人種差別主義リーダーとしての役割認識・行動を起こすための入門”を開催しました。**Oregon Center for Educational Equity** による研修に加え、生徒や保護者の声を取り入れました。

Facilities & Maintenance

- 学校閉鎖に伴う時間を利用していくつかのプロジェクトを加速させてきました。例として、**Five Oaks** ミドルスクール校舎の大規模なリモデルに集中して取り組むことができました。このプロジェクトは、予定よりも **3 ヶ月** 早く、予算内で完了する予定です。
- 対面式のハイブリッドモデルへ移行した時の準備のため、全ての校舎にて以下の評価を行っています。学校外部（出入り口）、学校内部（保健室、隔離のための部屋、カフェテリア、図書室）、教室（使用可能なスペースと教師のスペース）。

Human Resources

- **Human Resources** 部門では、学校区スタッフ全員を対象に一時帰休プログラムを実施し、**600 万ドル**以上の節約に貢献しました。ワークシェアプログラムを通じてまだ十分な支払いを受けていないスタッフを支援し、問題解決に努めています。
- 予算の問題と生徒数の変化のため、学校区全体でのスタッフ配置の変更を実施する、長い時間のかかるプロセスの途中です。
- 通常、春から夏にかけては、スタッフの退職や人事異動により人事のハイシーズンとなるのが一般的です。今年度はスタッフ配置が時期的に遅れたため、教師などのライセンスポジションの採用シーズンが遅れ、新しいポジションの発表、面接、採用、新採用スタッフの受け入れなどの業務が短期間に行われたため急増しました。**Human Resources** 部門の教師メンターが、リモート環境にて新採用スタッフを支援するため **New Staff Academy** を企画・制作しています。

Information Technology

- **Information Technology (IT)** 部門では、生徒のインターネット接続ニーズに対応し続けています。**Comcast** 社提供のインターネットエッセンシャルプログラムの約 **500** ものコードが、対象となる家庭に配布されました。さらに、**Sprint** 社提供の **1Million** プロジェクトでは、高校生を対象に約 **300** 台のホットスポットを提供する予定です。自宅でインターネットにアクセスできない小学生と中学生に対しては、**9 月**に **476** 台のホットスポットを配布する予定です。また、インターネットにアクセスできない生徒のいるホームレスシェルターやアパートとの提携を模索しています。
- 新入生全員に対しての学習用デバイス貸し出しを実施・確認後、**IT** 部門は小学生と中学生に新しい **Chromebook** と **iPad** を **18,000** 台配布します。配布の詳細は追ってお知らせします。
- **IT** チームは、春にニーズに応じて非常に短い時間でテクノロジーサポートを提供する **Student Help Desk** を立ち上げました。**9 月 8 日**より、新学期に向けてヘルプデスクを再開します。デバイスのサポートやアプリケーションへのアクセスを生徒やご家族が必要とする場合に、**IT** スタッフが対応します。

Nutrition Services

- **Nutrition Services** 部門では、夏に学校区の生徒が飢えに苦しむことがないように努めてきました。**15** の学校と **3** つのアパートにて、**175,000** 食以上の食事を提供しました。**9**

月に学校が再開するまでの空白を埋めるため、11の学校においてさらに2週間、夏の食事提供を延長しました。

- **Nutrition Services** 部門は、9月14日にカーブサイド（建物に入らず、車内または歩道で受け取る方法）での持ち帰りの食事提供を再開するため準備中です。提供場所の学校数を増やすと共に、家で温めて食べることのできる食事も新しく開発しました。
- **Student Success Act** 法令の栄養拡大部分を利用し、**Nutrition Services** 部門は新年度の資格規定のもと、13の学校にて無料の食事を提供するため州に申請しました。また、**BSD** は、より多くの家庭が無料ランチプログラムに申請すれば食事提供が受けられるよう、世帯所得のガイドラインを緩和しました。 [apply for meal benefits.](#)

Public Safety

- **COVID-19** 危機の中、**Public Safety** 部門は **Safe Oregon Tipline** より情報提供を受けています。これらの報告は、いじめ、薬物使用、自殺傾向、その他の身の安全に関する問題を取り上げています。**Public Safety** 部門は、警察などの法執行機関パートナーがこれらの問題に対応する支援を行なっています。

Transportation

- **Nutrition Services** 部門と協力し、やむを得ない事情により食事を受け取りに来ることができない30以上の家庭へ、食事の宅配サービスを提供しています。また、ハイブリッドモデルに移行した際の交通手段（スクールバス）の必要性についても、対象となる専門プログラムに参加している生徒を持つご家庭に連絡を取り続けています。
- スクールバスの運行ルートを決める担当者が、4,000時間以上の時間をかけて複数の登校シナリオに基づいたバスのスケジュールを再構築し、同時に車内で適切なソーシャルディスタンスを保ち、全ての州ガイドラインを遵守できるようにしています。
- **BSD** は電気スクールバス2台と、それらのバスに必要な充電インフラのための資金を獲得しました。充電ステーションの建設が進められており、2021年の春から新しいバスが導入される予定です。**BSD** は、プロパンと電気の両方を含むディーゼル以外の選択肢を模索し続けています。

全コミュニティを代表して、新学期の安全でスムーズな開始を保証するために、皆様のたゆまぬ努力に感謝の意を表したいと思います。まさに、私たち学校区のハッシュタグである **#BSDtogether** を体現しています。

Don Grotting

ビーバートン学校区教育長

新学期情報

今年度の開始は例年とは異なって見えるでしょう。でもご安心下さい。新しく更新した [Return-to-School webpage](#) をご覧下さい。よくある質問(FAQ)に加え、生徒の登録内容を確認していただく **verification**、スクールサプライ、無料ランチプログラム、インターネット接続に

関する情報を追加しました。また、フードボックスの配布、**Clothes Closet**、住居や公共料金の援助を提供する組織やコミュニティリソースへのリンクをご覧になれます。

Student Success Kits

学校区の **School Supply Drive** にて学用品や文房具の寄付にご協力いただいた皆様、ありがとうございます。皆様のご支援に感謝申し上げます。

ビーバートン教育財団やその他のコミュニティパートナーと協力して、無料ランチプログラムに該当している 16,000 人の BSD の生徒へ、**Student Success Kits** を提供することになりました。9月7日の週に対象の生徒へ配布されます。

私たちの目標達成にご協力いただける方は、[BEF Back-to-School Equip Campaign](#)への寄付をご検討下さい。

カレンダー

学校区は教員組合と協力して、2020-21 年度の新しいスクールカレンダーを作成中です。来週には発表できる予定です。

Verification プロセスの完了

新学期開始にあたり ParentVUE での verification（確認）プロセスをまだ済ませていない方は、完了させて下さい。学校開始前に、この毎年必要な手続きを完了させることをお勧めします。Verification を行うことで、重要な登録情報が最新のものであるか再確認することが可能となります。

詳細は [Back-to-School Verification webpage](#) をご覧下さい。

キンダーガーテン登録

キンダーガーテンのお子さんの入学登録はお早めにお済ませ下さい。[online](#)にて受付中です。サポートが必要な方は、お子さんの小学校へご連絡下さい。通訳の必要な方は、**Multilingual Department: 503-356-3755** へご連絡下さい。（日本語の場合は **503-356-3781** またはメールにて ako_luther@beaverton.k12.or.us までご連絡下さい。）

入学登録情報

お子さんの入学登録についての情報は [BSD website](#) をご覧下さい。

- ご自分の学校がどの学校かわからない場合は、[School Attendance Area webpage](#) にてご自宅住所を記入すると通学区域を確認できます。
- BSD 内で転居し、以前の学校の通学区域でなくなった場合は、新しい住所にて指定された学校に入学するか、または **Administrative Transfer** というシステムにて以前の学校へ転校を申請することができます。情報や申請書は [Transfers webpage](#) をご覧下さい。

- 転居して BSD 内に居住していない場合、新しい住所にて指定された学校区へ通うか、または **Interdistrict Transfer** というシステムにて以前の学校区(BSD)への転校を申請することができます。情報や申請書は [Transfers webpage](#) をご覧下さい。
- 居住場所を失い、ホームレスになりお困りの方は、 [McKinney Vento Homeless Program webpage](#) にて情報をご覧下さい。

ミドルスクール通学区域変更プロセス

ミドルスクールの通学区域を変更するプロセスを来月から再開します。委員会がバーチャルミーティングを 9 月 3 日 (木) 6:30 - 9:00 p.m. まで開催します。ミーティングは Zoom で行われ、学校区 YouTube チャンネルにてライブ中継されます。

プロセスの詳細、コメントの提出方法、ライブでの発言を希望される方の登録方法については、 [Middle School Boundary Adjustments webpage](#) を参照して下さい。

スクールメッセンジャー

BSD からのメールやテキスト、電話の受信設定を管理できることをご存知ですか。

SchoolMessenger アプリを携帯電話にダウンロードして、 [BSD webpage](#) の指示に従うだけです。BSD からのテキストメッセージのアラートに登録することもできます。67587 に yes とテキストを送るだけです。使用するあなたの現在の携帯電話番号が、学校区に既に登録されたものである必要があることをご注意下さい。